

ついに完成！ 創造的復興の新たな拠点

(株)湖池屋 九州阿蘇工場竣工式・稼働記念発表会

(株)湖池屋九州阿蘇工場で8月2日に竣工式が、同月6日に稼働記念発表会が執り行われました。

竣工式では神事が行われ、町や県、工事関係者などが出席。(株)湖池屋(東京都)の小池孝会長が「九州阿蘇工場は湖池屋にとって長年の夢。地元で愛される工場になることを今後の第一目標として頑張っていきたい」と意気込みを話しました。

また、蒲島郁夫県知事は「誘致からわずか1年という速さで、この日を迎えることができた。地域資源を生かしたさまざまな挑戦をしていただき、ビッグヒットが生まれることを大いに期待している」とあいさつしました。

稼働記念発表会は、同社の佐藤章社長による工場や商品の説明、今後の取り組みについての発表からスタート。西村町長は「本町への工場進出は復興を力強く後押しするとともに、地震によって傷ついた町民にとって大きな光であり希望となる。これを契機に、地域の産業がさまざまな影響を受け活性化し、発展することを期待している」と述べました。



1 竣工式に参加した関係者 2 小池会長
3 売り上げ1袋当たり1円が県の災害復興支援に寄付される商品「JAPAN プライドポテト熊本復活の地鶏」 4 九州阿蘇工場の外観



また、九州阿蘇工場アンバサダーに県出身のプロゴルファー、古閑美保さん、湖池屋・九州応援団長に県出身の歌手、八代亜紀さんがそれぞれ就任。八代亜紀さんはビデオメッセージで出演し、作詞の一部も手がけた工場完成記念オリジナルソング「ポテチでタンタカ」を初披露しました。さらに、東京2020オリンピックエンブレムカラーに染まった藍色くまモンも駆け付け、会場を盛り上げました。

同社は商品売り上げの一部を県の災害復旧支援に寄付する他、本工場の設立に当たり、県内での新規社員採用強化や、熊本のトマトを使った新商品開発など、町や県の復興を支援するさまざまな取り組みを実施。まさに、創造的復興の新たなシンボルが誕生しました。

5 左から佐藤社長、古閑さん、蒲島知事、西村町長（撮影日：令和3年8月6日） 6 熊本ならではの素材を含めた8種類のフレーバーを組み合わせ、世界に1つだけのポテトチップスを作ることができるマイポテチ体験施設「湖池屋GOGO!ファクトリー」

Pickup Plus+
今月のプラス



8月号の「わがまち散歩(広崎編)」で制作現場を取材した「ガラッパ」が広崎橋に飾られていました。輪切りにした夏野菜も一緒につるされ、夏の心地よい風に吹かれてゆらゆらと揺れていました。